

那覇西ロータリークラブ

国際ローター 2580 地区 創立 1962 年 6 月 4 日

2019 年 1 月 16 日

週報 第 2548 号



インスピレーションになろう

四つのテスト

- 1、真実かどうか
- 2、みんなに公平か
- 3、好意と友情を
深めるか
- 4、みんなの為に
なるかどうか

プログラム案内

本日のプログラム

1月16日(水)

- ・点鐘
- ・ロータリーソング
それこそロータリー
- ・会長報告
- ・幹事報告
- ・会員卓話
「財産管理・承継対策としての
家族信託」
中村 敦会員

例会報告

第 2663 回 (2019 年 1 月 9 日)

出席報告

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回 訂正出席率
64名	44名	20名	69%	62%

欠席会員

伊野波、名城、喜納、石川、上原、大城(博)
大濱、儀部、福重、久保、渡慶次、立津、城間
(久)、照屋(俊)、照屋(紀)、友塚、宮城、城間
(一)大田、具志堅(毅)会員

Make Up

崎原信一(12/21浦添)

石川正一(1/8那覇)

ニコニコ BOX

合計 ¥13,000 累計 ¥255,000

豊村良春 明けましておめでとうございます。

昨年は福祉の為に多大なるご芳志を賜り
有難うございました。

皆様のご多幸とご活躍を祈念申し上げます。

具志堅一真 明けましておめでとうございます。

本年も宜しくお願い致します。

会長 具志堅 一真 副会長:比嘉広明 當間良明
幹事:比嘉芳直

例会日 毎週水曜日 12時30分

例会場 ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー

事務局 那覇市松山 1-1-14 那覇共同ビル 6階

TEL: 861-7824 FAX: 861-7825



大城純市 新年明けましておめでとうございます。
バギオ訪問、地区大会、ハンブルグ国際大
会への参加と忙しい年度になりますが頑張
ります。

糸洲 昇 平成31年が始まりました。5月には元号
が変わります。一生のうちに元号が変わ
るのが2度あるとは貴重な経験です。

名幸俊海 新年御目出度う御座います。
今年も宜しく御願ひ致します。

儀間聖輝 景気が天気になりますように!

(会長報告)



明けましておめでとうございます。皆様におかれて
は2019年素晴らしいスタートがきたものと思
います。来年にはオリンピックという国の大イベントが
控えているということもあり、皆様の仕事にもいい影
響が出来ることを願っています。

本日理事会は11時から開催されました。今年初めての
の理事会で、まずはちょっと残念なお知らせから。長
いことロータリーに貢献されました折田会員が12月で

退会ということです。忘年会にはいらっしやってましたけども、既に退会届出てますので、理事会で承認されたことをご報告いたします。それと次年度の那覇西奨学生選考についてでしたけども、色々ありましたけども今回は一人選出するということです。ちょっと今年は早めに仕掛けて今月中になんとか、各大学に流して早めに決めていこうということになりました。お願いします。それとこれは我々の会ではないんですが、昨日の新聞、日経でしたか、本坊酒造の本坊さんのところが信州長野県でウィスキーを増産するということで、12億円くらいかけてというところで、鹿児島中央RCの会員の方で嬉しかったです。まあそういうところでございます。また本年もよろしくどうぞお願いいたします。

(年男 年頭挨拶)

<安里文雄会員>

私が生まれた昭和10年と言いますと、同じ歳にたくさん有名な人がおられます。例えば堺屋太一とか、エルビスプレスリーなど。それから10歳の時に日本は戦争で負け、私の父と母はフィリピンのミンダナオ島におりまして、それでなぜあんなところに行ったのかよくわかりませんが、沖縄は非常に貧しい県という事などで、私の祖父が最初にマニラに行ったんです。マニラに行って何をしたかもよくわかりませんでした。私がバギオに行った時カルロス寺岡さんという人に会って、祖父のことを調べてくれ、ちゃんと何月何日にバギオに来たという記録にありました。今のバギオに行く道ベンゲット道路の建設工事に携わっていたそうです。相当苦労したようです。その後祖父はミンダナオ島に行き麻の栽培を始め、23年間祖父は居て、それから私の父が呼ばれて20年。親子で43年間フィリピンで働いておりました。その間に私と兄とそこで生まれる訳です。

小学校に上がる頃、軍人になりたいと思っていましたけど、いつの間にか日本は戦争に負け横浜に引き上げてきた。横浜に上陸したときは私ども何にもなくて裸足で真冬に上陸したんですよ、とても惨めな格好だね。それで横浜に行って母と兄貴はマラリアにかかって入院したが、私は病気もせず、学校が始まるから来いって言うので裸足で行ったら、女の先生がスリッパを持ってきてくれ、鉛筆やノートも全然なかったですが、私は成績上から3番目くらいだった。ですが、相当虐められましたね。引揚者、うじ虫、何とかって言って、後ろから小突かれましたが、3倍返しにしてやりました。親父から教わってましたから。昭和10年っていうのは非常に落差がありましたが、今は金

も余っているからか良く知りませんが、ゴルフなどして遊んでいます。そんな時代を歩んできました。

<大仲良一会員>

皆さん明けましておめでとうございます。安里さんとまったく同じ年代で同じような経験をした仲間の一人なんですけども、糸満で生まれ小学校2年生の時に戦争で疎開ということで、対馬丸の一つ前かその後だったと思いますけど、同じ船団でもって鹿児島に疎開し熊本に移動して、そこで2年間疎開生活をしております。お話がありましたように非常に惨めな時代で、当時は本当に着の身着のままで向こうに参りまして、食べ物にも非常に苦労しましたが、幸い有明海があったもんですから、まあ何とかなるものですね。おふくろは和裁の資格を持っていたので、他の人より少し恵まれていた。終戦2日前に獣医だった父が熊本に転勤となったのは幸運だった。終戦後の沖縄ははだしの学校に通っていて、服もないことからアメリカの軍服を切り刻んでつけていた。くろんぼ服と呼んでいた。雨が降ると教室の中まで雨風が入ってきて、床も土の状況、黒板もベニア板にペンキを塗って使っていた。その後糸満高校に徒歩で4km通ったが、状況は依然と変わらず教材もなく代わりばんこに教材を写して勉強していた。昭和53年親父の獣医の跡を継ごうと東京に行き獣医学部に入るが2年後久留米大学に編入し医学部に入った。卒業後、各担当を勤務しながら鹿児島大では産婦人科まで勉強した。与論島で7,000人以上、一人でみた。朝から晩まで、ひどいときには手術後に往診して朝までになり、そのまま診療となったこともあった。那覇病院の田畑院長から脳外科がないから帰ってきてほしい電報があり沖縄に帰るが脳外科の設備がなく、その後泉崎病院に勤務し、2年後与儀で開業した。当時はドクターも看護師も検査技師もない状況。九州で全大学病院を回ったが採用できず、台湾で医師を探し耳鼻科眼科小児科を始めた。手術後の後遺症が残るリハビリができるよう沖縄で初めてリハビリを始めた。よそ様の病院でやっていないことをやっつけようオンリーワンを目指した。中国で見た北京高気圧酸素の導入や、沖縄発のガンマーナイフの採用で脳腫瘍等、複雑な病気を手術無しで施術し3日で退院。導入後3千件以上。また、航空会社のパイロット健康診断ができるのは沖縄で免許を持っている当院だけ。今後は高齢者の方々をいかにして健全な状態で余生を送って頂けるか。健康は歳取ってから食生活を改善してもどうしようもないことから、若い世代からの健康・食事・運動が必要なので3世代(若年・中高年・高齢)の検診をしていこうと今年は構想を持っている。